

標識ハクチョウの記録

村瀬 美江

024-0012 北上市常盤台2丁目2-17

133Y(緑色に白色の文字) 山階鳥類研究所標識研究室によると、コハクチョウ、雌、小西敢氏が2006年5月1日に北海道浜頓別町クッチャロ湖で放鳥、幼鳥、足環番号は150-0533である。

岩手県奥州市江刺区岩屋堂の人首川豊田橋下流で2008年3月3日の朝1回だけの観察である。この川にはコハクチョウはあまり入らないということである。観察者は近藤正光氏で、近藤氏から電話があり、山階鳥類研究所標識研究室に報告したところ、この個体に関する上述の情報を得た。

岩手県相去町大境池に2008年3月20日に飛来し、6:40~8:50の間観察した。この個体はここに28日まで滞在し、人になれていた。29日には観察されず、飛去したとおもわれる。

クッチャロ湖の小西敢氏に連絡したところ、前年はクッチャロ湖で越冬したとのこ

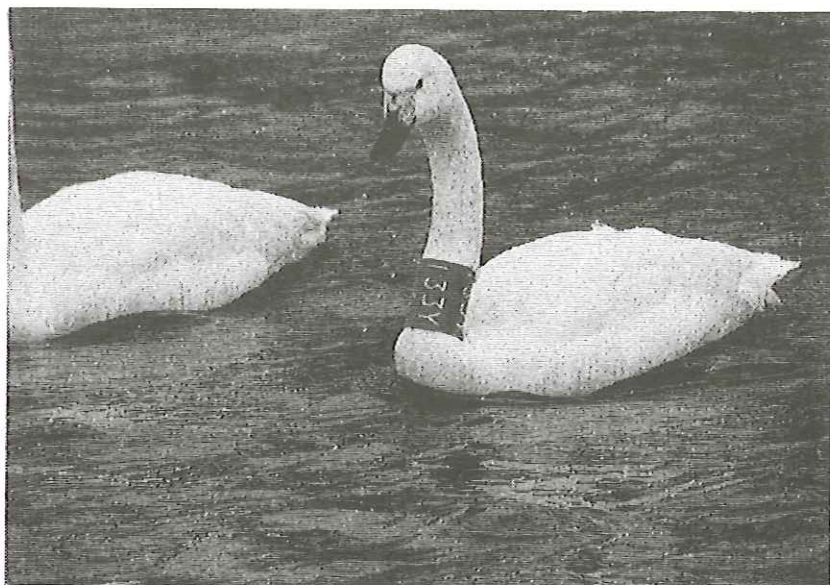


図1. 2008年3月3日, 7:25, 人首川で(写真: 近藤正光)

とでおある。4月3日に朝に到着したと小西氏から電話があった。3月29日～4月3日の間に移動したようで、4～5日で北上したようである。今迄の記録では、北上より北帰、クッチャロ湖まで10日から2週間かかっていたので、とても速い日時での移動と考えられる。

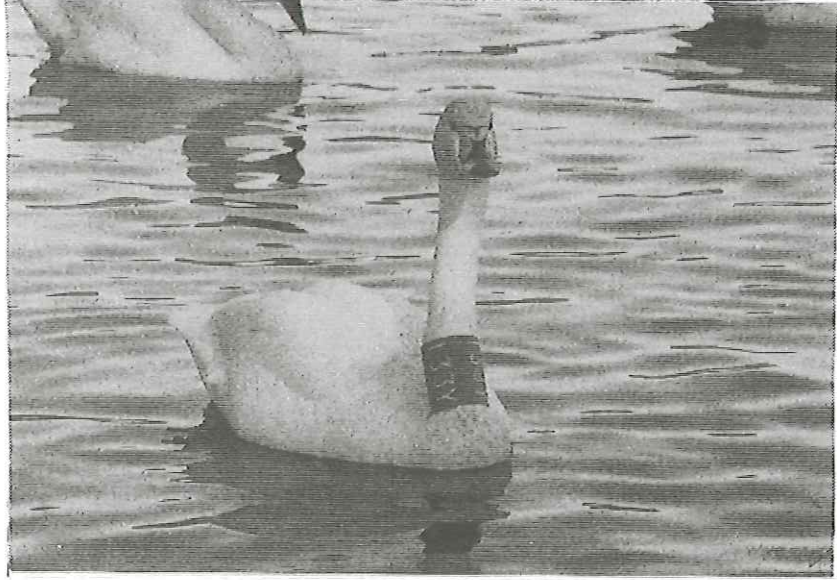


図2. 2008年3月20日, 8:00, 大境池で(写真:村瀬美江戸)